

豚コレラ5府県に拡大

愛知、長野、滋賀、大阪でも確認

愛知県は6日、県の遺伝子検査で豚コレラの陽性反応が出た同県豊田市の養豚場の豚の感染が国の検査で確定したと明らかにした。農林水産省によると、この養豚場が出荷した施設のうち、岐阜、長野、愛知、滋賀、大阪の養豚場でも感染を確認。昨年9月に岐阜市の養豚場で26年ぶりの発生が判明した豚コレラは5府県に拡大した。

吉川貴盛農相は6日、省内での対策会議で「極めて重大な局面を迎えている」と述べ、防疫措置の徹底を指示した。愛知県は陸上自衛隊に災害派遣を要請し、豊田市の養豚場の全約6600頭の殺処分を始めた。半径10キロ圏にある6施設の計約1100頭の出荷も禁止した。4日、豚に食欲不振などの症状がある

豊田市の養豚場は1月以降、岐阜、長野、愛知、三重、滋賀、大阪の6府県計6農場に子豚を出荷した。農水省はこのうち三重県以外の5農場で陽性を確認したと明らかにした。

愛知県によると、豊田市の養豚場が今月4日、豚に食欲不振などの症状がある

豊田市の養豚場は1月以降、岐阜、長野、愛知、三重、滋賀、大阪の6府県計6日に確定した。県は9日までに殺処分を終え、12日には豚の埋却や施設消毒などの防疫作業を完了させるとしている。

豚コレラは昨年9月以降、岐阜県内の8施設で発生。野生イノシシの感染確認も相次いでおり、岐阜県内と県境の愛知県犬山市や同県春日井市で計100頭を超えた。

恵那に搬入の豚も陽性

岐阜県は6日、愛知県豊田市の養豚場から豚を仕入れていた恵那市内の農場で、複数の豚の感染が確認されたと発表した。岐阜県は自衛隊に災害派遣を要請。延べ約1800人態勢で、全3993頭を殺処分する。岐阜県で感染が確認されたのは9カ所目。

農林水産省は同日朝、岐阜市内に現地対策本部を設置。小里泰弘農林水産副大臣が県庁で古田肇知事と面談し、「想定を超えた憂慮すべき事態」と語った。



豚コレラの陽性反応が出た愛知県豊田市の養豚場へ防疫作業のために集まった防護服姿の作業員。6日午前9時28分

豚コレラ 豚やイノシシ特有の家畜伝染病。発熱や食欲減退などの症状が現れる。感染力が強く、致死率が高いが、人にはうつらず、感染した豚の肉を食べても影響はない。国内では熊本県で1992年に発生して以降、昨年9月に岐阜市内の養豚場で判明するまで確認されていなかった。農林水産省は昨年12月の専門家検討会で、岐阜県での発生について、野生のイノシシが最初に感染し養豚場に広がったとの見解を示した。